

令和3年度「市長と語り合う会」について（益田地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和3年 7月5日（月）	益田公民館	19:00～20:00	9	1	10

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和3年度施政方針「コロナ対応と次の跳躍への備え」

・ ワクチン接種

昨年度は市内経済の落ち込みに対応し、国の特別給付金、市独自の緊急経済応援給付金などを主に進めた。今年度はワクチン接種が重要な事業となる。まずは医療従事者への優先接種、高齢者福祉施設入居者及び事業従事者、65歳以上への接種と進めており、今週からは2回目の接種の方も出てくる。かかりつけ医での接種を希望する方が多く、集団接種の枠に余裕があるので、できるだけそちらに移ってもらい、いち早い接種完了へ向け進めていきたい。7月上旬からは60～64歳の方のうち基礎疾患、障害をお持ちの方へ、中旬からそれ以外の方への接種へと進める。8月以降のワクチン供給に関して確たる数値がまだ示されないため、以降の接種計画はまだ検討段階である。準備が円滑に進むよう、県を通して国にも要望していきたい。

接種には副反応やアナフィラキシーなどリスクもあるが、全体としてメリットの方が高く、多くの方が接種することで集団免疫ができることの意義が大きい。何とか多くの方が2回の接種を受けていただけるよう、ご理解ご協力をお願いしたい。

・ 空港・高速道路関連

令和5年3月までの航空便・東京線2往復運航が決定したが、現在人の動きが制限される中で減便が相次ぎ、効果が出ていない。ただいまのうちにコロナ後に備えて動いていきたい。

高速道路については、整備中の三隅～益田道路が令和7年開通の見通しである。昨年度は須子～小浜間、今年度は小浜～田万川間と市内全域の事業化が決まったことになる。

・ 日本遺産認定を活かす施策

この益田地区が中心となるので、歴史民俗資料館をビジターセンターとして整備し、関連史跡を徒歩で巡っていただく拠点へと位置付ける。地区の皆様には運営面のご協力をいただきたい。

なお認定後の活用が十分でない場合の認定取り消しも示唆されている。集客実態・経済効果が判断材料となると思われるので、経済的発展の起爆剤となるよう取り組みたい。

・ 益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

益田地区には高校が集中しているので、この取組において重要と考える。卒業後の地域の担い手を増やすことが目的。モノづくり企業の誘致を進めているが、県または誘致企業ともそうした考えを共有するために、連携が重要になってくる。

2. 美都・匹見総合支所の名称変更

今年度は美都・匹見6地区に特にこの会を設定し、見直しについて説明をすることとした。合併以来、旧町役場に支所を設置し部長級の支所長を配置してきたが、課長級を統括職員とする編

成に変更し、支所で行っていた業務を本庁で統合して行えるようにすることとしたい。令和4年度からは総合支所ではなく、匹見地区住民課（仮称）などとして行う考えである。対象地区住民としては益々体制が縮小され、住民サービスが低下するのではないかという不安を持たれるかと思うが、匹見地区は現支所内に職員を配置し、住民に密接にかかわる業務は地区で完結できる体制を整えていく。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 日本遺産の推進について
- ② 日本遺産関連・ビジターセンターについて
- ③ 街路樹について
- ④ ごみ処理について
- ⑤ 要望対応後の連絡について
- ⑥ 金融機関店舗の利活用について
- ⑦ 中高一貫教育について
- ⑧ 益田川の浄化について

○ 閉 会 （秘書課長）

令和3年度「市長と語り合う会」

〔会場 益田公民館 開催日時：令和3年7月5日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 日本遺産の推進について 活性化計画が示されているが経緯の説明がなされず、市民の意見聴取も十分ではない。歴史民俗資料館の活用（ビジターセンター）についても同様である。</p>	<p>① （島田局長）「日本遺産を通じた地域活性化計画」のことに承るが、国補助金を得るために実行委員会内を中心に議論し公表した。今後計画に基づいて事業を進めながら、詳細を確定していく。まず3年間、全体で5年間の取り組みとなる。今年度から日本遺産推進室を設置し、そちらで意見もいただきながら行っていく。 （市長）企業版ふるさと納税の活用という事情もあり、手続きとしてこのようになっているが、あくまでスタートラインである。これから地元の意見をいただきながら進めていく予定である。</p>
<p>② 日本遺産関連・ビジターセンターについて 設計済なのか。具体的にどういう施設になるのか。展示内容、運営主体、学芸員の配置に関する事など。少人数で説明会があったと聞いたが、一般市民に対しては行わないのか。来年の秋にオープンと聞いたがどうか。</p>	<p>② （島田局長）まだ構想段階であり、実施設計はこれからである。歴史民俗資料館としての機能も残るので、建物の改修についても進めている。将来的に運営は地域DMO（観光地域づくり法人）の指定管理としたいが、当初は観光協会と運営等を考えている。具体的な運営についてはこれからの検討課題である。2か年事業なので、スケジュール的には来秋オープンに向けて動いていく。</p>
<p>③ 街路樹について 聖火リレーコースとなった道の街路樹だが、少し前に高さ2メートル辺りで切り落としている。手入れもせず苦情が出ると切るというやり方は如何か。</p>	<p>③ 県道なので市としては何とも言えないが、車の通行上、視界を妨げるために危険ということで自治会と話し合って切ることになったと聞いている。ただ景観上の問題は残ると思うので県にも伝えていく。</p>
<p>④ ごみ処理について 「可燃ごみ中の生ごみ等減量化に補助金」と広報に記載されていた。重要と思うが、コンポストがどれだけ普及すればどれだけの処理コストが浮くのか。また貝殻ごみの建築資材へのリサイクルや、バイオ肥料を活かした雇用創出など考えられることが様々ある。</p>	<p>④ 具体的な数値は把握していないが、コスト削減とサービスの充実に向けて考えていく。貝殻ごみの再利用についても研究していく。</p>
<p>⑤ 要望対応後の連絡について 点字ブロック、街灯などの修繕を市に依頼するが、修繕など終わった後に連絡がない。市の欠点である。</p>	<p>⑤ 要望に対応した際、代表の方には連絡すべきである。しっかり指示していく。</p>
<p>⑥ 金融機関店舗の利活用について ごうぎんとJA支所が閉店になるが、店舗の再利用ができないか。ビジターセンターは何カ所あっても良いと思うし、災害時の避難場所としても考えられる。</p>	<p>⑥ ごうぎんについてはランチ・イン・ランチ方式であり、ATMは残ると聞いている。JAも同様と聞く。いずれにしても各機関の所有物であり、市として利用する計画もないので、地域と各機関とで話し合っていたいただきたい。結果、市が入れば円滑に進むということがあれば市としても検討する。</p>

⑦ 中高一貫教育について
新しい学校を作るという意味ではないと思
うが、具体的に何をするのか。

⑧ 益田川の浄化について
昔は益田川にもアユが狙上していた。川を汚
さない生活を個人でも続けて、またそうした
光景を見たい。

⑦ いまある市内中高の教育・人材等の交流を行
って6年間の一貫性を持たせたい。また就
職・大学進学後にどう地元に戻元できるよ
うにするか、県や学校法人との協議はまだだ
が市としての構想を固めている。「ひとづくり
コンソーシアム」という協議体があり、各教
育関連機関が所属する中で市としての考え
を述べた。これには市内4高校の他養護学校
も含まれている。

⑧ 益田川の問題に限らないが、合併浄化槽の推
進やごみ処理の問題を呼びかけていきたい。